



日本アカデミック・アドバイジング協会 ニュースレター

No.1 2021年7月5日発行

日本アカデミック・アドバイジング協会

(Japan Association for Academic Advising : 通称 JAAA)

事務局：〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学 岸岡研究室

Email : info@academic-advising.jp、URL : <https://academic-advising.jp/>

<< 日本アカデミック・アドバイジング協会 第1回年次大会の開催について >>

JAAA 第1回年次大会(2021年)
大会実行委員長 山田 剛史(関西大学)

日本アカデミック・アドバイジング協会第1回年次大会を、2021年8月28日(土)に開催(オンライン)させていただきますことになりました。

第1回となる今大会のテーマは、「アカデミック・アドバイジングの多様性と可能性」です。2021年3月に本協会が設立され、まだ半年も経っていません。その中で、「アカデミック・アドバイジングとは何か」「類似の活動・概念との異同は何か」「射程となる対象や領域はどのようなものか」など、必ずしも明確になっていない点が多々あります。このような課題意識も持ちながら、アカデミック・アドバイジングの持つ多様性や可能性について考え、議論する時間にしたいということから、今大会のテーマとさせていただきました。

シンポジウムでは「アカデミック・アドバイジングの可能性を考える」と題して、島田敬久氏(立命館大学)、嶋田みのり氏(東北学院大学)、鈴木浩子氏(日本薬科大学)の3名からそれぞれの大学での実践に基づく報告をしていただきます。異なる領域、異なる立場での多様な実践からアカデミック・アドバイジングの可能性について考えます。

また、本大会では、6つの自由研究発表と3つのテーマ別ワークショップを設けています。自由研究発表は1件につき40分とし、参加者とじっくり議論出来るようにしています。会の終了後には簡単な交流の場も設けています。

至らない点もあるかと思いますが、当日みなさまとお会いし、議論出来ることを実行委員会一同楽しみにしています。



大会テーマ: アカデミック・アドバイジングの多様性と可能性

1. 開催日時: 2021(R3)年8月28日(土) 10:00~17:30

2. 形 式: オンライン開催(ZOOM)

3. プログラム

総合司会: 山田 剛史(関西大学)

10:00-12:00 自由研究発表

12:00-13:00 (お昼休憩)

13:00-13:05 会長あいさつ 会長 清水 栄子(追手門学院大学)

13:05-13:20 JA³ Room : 寺崎 昌男先生をお招きして

13:20-15:40 シンポジウム「アカデミック・アドバイザーの可能性を考える」

島田 敬久(立命館大学)

嶋田 みのり(東北学院大学)

鈴木 浩子(日本薬科大学)

15:40-15:50 (休憩)

15:50-17:30 テーマ別ワークショップ

WS1: JA³ 版ポートフォリオ作成ミニミニワークショップ

清水 栄子(追手門学院大学)・岸岡 奈津子(立命館大学)

WS2: 学生物語

山崎 めぐみ(創価大学)・御厨 まり子(明星大学)

WS3: 学生を支援する学生の養成法ワークショップ(導入編)

馬本 勉(広島県立大学)・岸岡 洋介(京都外国語大学)

17:30 閉会

17:30~18:00 参加者交流会

<進行の詳細>

■10:00~12:00 自由研究発表

◎部会A 司会：馬本 勉(県立広島大学)

- ①単位僅少学生への個別学習支援:学習状況の可視化・整理・明確化から
○木原 宏子(立命館大学)
- ②ピアサポート学生による学習支援ー学生講師による基礎学習講座3年間の取組みと振り返りー
○竹山 優子(筑紫女学園大学)
- ③学習支援リソース活用に向けたプロモーション活動とその成果
○宝来 華代子(崇城大学)

◎部会B 司会：山田 剛史(関西大学)

- ①支援の可視化と最適化ー多様なニーズを取りこぼさないリファーマとStudent Successの共通理解ー
○渡邊 あい子(立命館大学)・石田 明菜(立命館大学)・岸岡 奈津子(立命館大学)
- ②誰がアカデミック・アドバイジングを担うのかー近接領域との比較を通じた養成と専門職化に関する考察ー
○川村 和弘(北九州市立大学)・橋本 あや(山口県立大学)
- ③立命館大学における専門職アカデミック・アドバイザー育成の実践
○島田 敬久(立命館大学)

■12:00~13:00 お昼休憩



■13:00~13:05 会長あいさつ 会長 清水 栄子(追手門学院大学)

■13:05~13:20 JA³ Room : 寺崎 昌男先生をお招きして

♡ JA³ Room: は、「ジェイ・キューブ・ルーム」と読み、「JAAA's Room」の意です。

【てらさき まさお先生のプロフィール】

東京大学・立教大学・桜美林大学名誉教授
教育学博士。1932(昭和7)年 福岡県出身。東京大学大学院を経て野間教育研究所を初め各校で勤務。
東大では教育学部長、附属中高等学校校長、百年史編集委員会委員長を、立教大学では全学共通カリ
キュラム運営センター部長を、桜美林大学大学院では職員対象の大学アドミニストレーション専攻主任を
務められる。学会では、教育史学会、日本教育学会、大学教育学会の運営にあたり、日本学術会議第
17・18期会員。教育史の枠を超えて大学史を専攻し、「日本における大学自治制度の成立」(評論社)、
「東京大学の歴史」(講談社)、「御雇教師ハウスケットの研究」「日本近代大学史」(共に東京大学出版
会)など著書多数。近著に「大学研究の六〇年」(評論社)がある。

■13:20～15:40 シンポジウム

テーマ:アカデミック・アドバイザーの可能性を考える ◎進行:清水 栄子(追手門学院大学)

学生が自身の目的・目標を決定しその達成のための計画・実践を支援するアカデミック・アドバイジングでは、多様な学生のニーズに添った支援が行われています。一方、その支援者であるアドバイザーの担う職務、立場も多様と言えるでしょう。

本シンポジウムでは、異なるバックグラウンドを持つ3名のアドバイザーにご登壇いただきます。それぞれが担っている所属大学での職務、アカデミック・アドバイジングの実践、そしてご自身の関わりについてご紹介いただきます。また、今後の展望についてもお話いただきます。

その後のパネルディスカッションでは、アカデミック・アドバイザーの多様性や可能性、そして本協会への期待などについて、フロアを交えて意見交換を行う予定です。

No More “Nobody Told Me!” — 高等教育現場におけるアドバイジング制度とアドバイザーの役割 —

島田 敬久(立命館大学グローバル教養学部 事務長補佐 兼 アカデミック・アドバイジング・ディレクター)

ラーニングコモンズの学習支援とアドバイジング

嶋田 みのり(東北学院大学ラーニング・コモンズ特任助教)

初年次教育・キャリア教育におけるアカデミックアドバイジング

鈴木 浩子(日本薬科大学医療ビジネス薬科学科教授)

■15:50～17:30 テーマ別ワークショップ

WS1: JA³ 版ポートフォリオ作成ミニミニワークショップ (定員:20名)

清水 栄子(追手門学院大学)・岸岡 奈津子(立命館大学)

米国ではアカデミック・アドバイザーのためのポートフォリオが導入されています。ポートフォリオの作成を通して、アドバイザーは自身のこれまでのアドバイジング活動や成果を振り返り、これからの業務やその改善点、目標の明確化をはかることができます。ポートフォリオ作成のWSは通常2日～3日程度かけて行われますが、今回はその一部として実施します。このセッションでは、学生を支援するうえでの参加者それぞれの方針(理念)を明確にすることを目的としています。まずポートフォリオ作成の意義と効果について説明し、各自でワークを行った後にグループで共有していただきます。自身の支援方針を明確化したい方やポートフォリオに興味・関心のある方のご参加をお待ちしています。

WS2: 学生物語り

山崎 めぐみ(創価大学)・御厨 まり子(明星大学)

このセッションでは、どこのキャンパスにもいる学生の物語りをとおして、アカデミック・アドバイジングを考えていきます。大学における自分の役割をとおして、学生が自分の可能性を発揮するために、どのように関わることができるか、他の参加者と話し合い、ネットワークづくりの機会にしていただければと思います。自分ではアカデミック・アドバイジングを行っていないと思っていても、それぞれの立場でその役割を担っていることも理解していきたいと考えています。

WS3: 学生を支援する学生の養成法ワークショップ(導入編)

馬本 勉(広島県立大学)・岸岡 洋介(京都外国語大学)

ピアサポーターやピアチューターと呼ばれる「学生を支援する学生」の仕組みが全国の大学に広がっています。前者の「サポーター」は生活面、後者の「チューター」は学修面と分けて考える場合もありますが、その境界線は曖昧です。いずれにしても、アドバイジングに学生の力を活かすことの効果は皆さまお感じのことと思います。しかし、アドバイジングを担う学生をどう育成すればよいか、様々な模索が続いていることも事実です。

今回のワークショップでは、学生による学生支援を通じたスチューデント・サクセスを目指し、支援者たる学生養成法のヒントとなるワークとディスカッションを展開します。

■17:30～18:00 閉会

<参加者交流会♪> 大会終了後、30分程度ですが、参加者同士が交流できる時間を共有します。
お時間のある方は、是非ご参加ください。

参加申込について

1. 参加申込期限:2021年8月10日(火)

2. 参加申込方法:お申込みフォーム (<https://forms.gle/TZmVraFWG6M8w7DcA>) よりお申込みください。 ※学会Webサイト内の年次大会ページからも、お申し込みできます。

3. 参加費払込期限:2021年8月17日(火)

【参加費用一覧】

	会員	学生会員	非会員
参加費	2,000円	0円	3,000円
参加者交流会	無料	無料	無料

4. 大会参加費振込口座

〇ゆうちょ銀行 【記号】 11390 【番号】 16649071

〇他の金融機関からの振込みをされる場合

株式会社ゆうちょ銀行 【店名】一三八(読み イチサンハチ)

【金融機関コード】9900 、【店番】138

【預金種目】普通預金 、【口座番号】1664907

※会員の方は、お振込みの際、お名前の前に「会員NO.」をご記入ください。

5. お申込みにあたって >>>

- 本大会は、事前申込み制となっております。申込期限後は、受付できませんのでご注意ください。
- 本大会は、非会員の方もご参加いただけます。
- 団体会員としてのお申込みは、5名様までとさせていただきます(それ以上は、非会員でお申込みください)。
- お申込み後、期限内に参加費のお振込みが確認できない場合は、キャンセルされたものとします。
- 参加費をお振込み後、8月17日(火)までにご連絡いただいたキャンセルについては、1ヵ月以内に返金します。ただし、その際は返金額より振込手数料を差し引いた額となりますので、ご了承ください。なお、8月18日以降は返金できませんのでご了承ください。
- 期限内に参加費をお振込みいただいた方には、領収書を発行します。また、8月24日(火)に、当日参加用のZoomのURLと大会要旨集をお送りします。
- 現在非会員の方で、会員としての参加申込みをご希望の場合は、先に当協会のWebサイトより「会員申込」(7月15日(木)まで)をお願いします。追って会員決定通知をお送りしますので、会費納入後、期限内に参加申込みをお願いします。
- 年次大会終了後の参加者交流会の費用は無料です。ぜひご参加ください。

◯ <<お知らせ>> ◯

1) 会費納入のお願い 会費が未納の方は、7月末日までにお支払いください。

2) メーリングリスト(jaaa_balloon@academic-advising.jp: 通称バルーンメール)について

- ① 協会では、事務連絡の効率化を図ることを目的にメーリングリストを作成し、運用を開始しました。
- ② メーリングリストには、会員登録時にお届けいただいた個人会員及び団体会員の代表者のメールアドレスを登録しています。
- ③ メーリングリストの受診時に、迷惑メールに振り分けられる場合がありますので、バルーンメールを登録いただくなど、設定変更をお願いします。

※協会では、バルーンメールを、会員相互の情報交換用メーリングリストとして活用することも計画中です。
運用ルール等の詳細が決まりましたら、改めてご連絡します。

日本アカデミック・アドバイジング協会 第1回年次大会実行委員会

実行委員長 山田 剛史(関西大学)

私市 佐代美(武庫川女子大学)、岸岡 奈津子(立命館大学)

清水 栄子(追手門学院大学)、御厨 まり子(明星大学)

Email : info@academic-advising.jp、URL : <https://academic-advising.jp/>

